

【File No. 27 | いわむら城址薪能 いわむらじょうしたきぎのう (岩村城藩主邸跡 恵那市岩村町98番地)】



特設舞台で幻想的な能が演じられる

いわむら城址薪能は、昭和60年の岩村城創築八百年祭を起源に始まった岩村町の夏の風物詩。岩村城藩主邸跡でかがり火をたき、その自然景観を生かした特設舞台で開催される野外能である。かがり火と月の光の薄明かりの中で上演される能は、何ともいえない趣があり、日本の伝統芸能の醍醐味を存分に味わうことができる。かつて尾張勢と甲斐勢が壮絶な戦いを繰り広げる中、岩村城にいた織田信長が、武田勝頼が死亡したとの知らせに自ら能を舞って戦勝を祝ったとされる。その言い伝えを基に、武将たちの供養と文化の伝承につながればと企画され、今年で31回目の開催を迎える。毎年、宝生流の家元ら人間国宝クラスを招き、本格的な能舞台を味わえると多くのファンを集めている。

ひとロメモ

第31回いわむら城址薪能は、平成27年8月22日(土)に開催。岩村が舞台の女城主と信長の物語「霸王」を上演。チケットは、町並みふれあいの館、岩村コミュニティセンター、チケットぴあ他で好評発売中。大人3,000円(前売)3,500円(当日)、中高生1,000円。

恵那写真館

私の大好きな1枚  
撮影地：笠置町河合栃久保  
笠置町 遠藤忠夫さん



「ぎふの棚田21選」に選定された栃久保の棚田。田植えが終わった後は、お茶畑やユズの木、ササユリも見ることができ、上からの眺めが素晴らしいです。



栃久保の棚田

皆さんの  
大好きな風景を  
気軽に応募く  
ださい！

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は  
8月15日号  
発行日は  
8月14日(金)です



広報えな No.248  
2015年(平成27年)  
7月31日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係  
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1  
☎(0573)26-2111/☎26-2155/(IP電話)050-5808-9521  
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』8月1日号、  
1部当たりの印刷経費は  
約13.2円(税込み)です。



◀市ウェブサイト  
(閲覧用QRコード)  
あなたの知りたい情  
報を分かりやすく提  
供しています。



◀市メール配信サービス  
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ  
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインクは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

